

# ニンジン（人参）



photo by FloraFarm GmbH / Katharina Lohrie CC-BY, from Wikimedia Commons



## 語源

かつて人参は対馬藩を介した輸入に頼っていたが、1729年、幕府は対馬藩から献上された「生根8本、種子60粒」を医師で本草学者の田村藍水に託し、国内栽培を命じた。田村は試行錯誤の末、栽培を成功させ、その種子が栽培奨励のため各藩に分与された。これが植物名「オタネニンジン（御種人参）」の起こりとなっている。

## 基原

ウコギ科 多年生草本  
オタネニンジン *Panax ginseng*

## 薬用部分

オタネニンジン細根を除いた根またはこれを軽く湯通ししたもの。ニンジン加工調整法により名称が異なる。

白参（ハクジン）：周皮を除去してから乾燥したもの。

紅参（コウジン）：蒸して陽乾したもの。味はやや甘く微かに苦味を有し、特有の微香がある。

生干人参（キボシニンジン）：そのまま乾燥したもの。

御種人参（オタネニンジン）：周皮をとらず湯通して仕上げたもの。

## 産地

本邦市場で使用されるものは中国産（吉林、遼寧、黒竜江）、韓国産が多く、70～80%を占める。わが国では長野（丸子付近）、福島（会津若松付近）、島根（大根島）の各県で生産され、長野県は全生産量の70%以上を占める。

## 主な薬効

強壮、鎮静、抗糖尿、血圧降下、覚醒。

## 主な成分

精油：β-エレメン

サポニン：ジンセノシド（Ro, Ra, Rb1, Rb2, Rb3, Rc, Rd, Re, Rf, Rg1, Rg2）

ポリアセチレン化合物：パナキシノール など

## 代表的処方

主として漢方処方用薬である。健胃消化薬、止瀉整腸薬、鎮痛鎮痙薬、保健強壮薬とみなされる処方及びその他の処方に比較的高頻度で配合されている。

### 【人参湯】

ニンジントウ

胃腸虚弱、食欲不振、下痢、易疲労性、手足の冷え、尿量増加に用いられる。

（処方内容） 人参／甘草／朮／乾姜

### 【柴胡桂枝湯】

サイコケイシトウ

胃腸炎、風邪症候群、胃潰瘍に用いられる。

（処方内容） 柴胡／半夏／桂枝／芍薬／オウゴン／人参／大棗／甘草／生姜

### 【麦門冬湯】

バクモンドウトウ

咳嗽（がいそう）、喀痰（かくたん）排出困難、嘔声（させい）に用いられる。

（処方内容） 麦門冬／半夏／粳米／大棗／人参／甘草

## 文献報告

### 【人参の薬理的活性】

Botanical characteristics, pharmacological effects and medical components of Korean *Panax ginseng* C A Meyer

Acta Pharmacol Sin. 2008, 29, 1109-18

※参考文献：「生薬単」「日本薬局方」「漢方マニュアル」

⚠ この資料は業者間取引用の説明資料です。一般消費者の方への販促資料としてはお使いにならないようお願いいたします。



健やかな未来を創る自然の力  
**福田龍株式会社**

（お問い合わせ） 〒530-0047大阪市北区西天満1-5-11  
TEL：06-6364-5861 FAX：06-6364-6562  
URL：www.fukudaryu.co.jp